





施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 施策の目的等

施策名	035	人権意識の醸成
総合計画	基本目標 III 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習） 基本施策 01 互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進	主担当部課名 市民協働推進部 多様性社会推進課
めざす姿	性別、年齢、国籍や障害の有無などを問わず、市民一人ひとりがお互いの人間性を尊重し、認め合うとともに、地域においてそれぞれが抱える問題や悩みについて助け合いがなされるなど、偏見や差別のない、人へ寄り添えるまちになっています。	
SDGsとの関連	   	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	1,142,000	2,927,000	1,199,000	934,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	32,000	32,000	42,000	42,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	1,110,000	2,895,000	1,157,000	892,000		
予算現額	1,167,000	3,345,000	1,153,000	0		
決算額	1,019,868	2,879,975	971,008	0		
国庫支出金	115,000	115,000	115,000	0		
都支出金	25,794	25,794	34,032	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	879,074	2,739,181	821,976	0		
執行率	87.4	86.1	84.2	0.0		
(人件費)						
職員数	0.60	1.60	1.60	0.00		
職員人件費	4,700,884	12,926,120	12,766,386	0		
月額制会計年度任用職員数	5.00	5.00	5.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	16,243,460	16,188,875	16,123,610	0		
(間接経費)						
間接経費	2,201,815	28,463	7,205	0		
総コスト	24,166,027	32,023,433	29,868,209	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 性別や年齢等による不利益があると感じている市民の割合	12.1 %	実績 16.5	12.1	-	-	8.5
② 人権意識啓発講座（市民向け）の受講人数	25 人	実績 322.0	463	-	-	100
		達成率	322.0	463.0	0.0	0.0
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	性別、年齢、国籍や障害の有無など、多様性を認め合う共生社会が求められている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	令和4年10月より、東京都がパートナーシップ宣誓制度を開始した。	(人権) 職員向けにやさしい日本語及びヤングケアラーについて研修を行い、広く人権啓発を行うことができた。 (女性人権) ・R5年度は市内中学校2校、市内大学1校においてデートDVの意識啓発講座を実施できた。また、その他の講座においても会場開催だけでなくオンラインも活用し、市民が参加方法を選ぶことができ、参加を促すことができた。	
市民ニーズ	性的マイノリティ、外国人に対する差別、SNS上での誹謗中傷など、人権問題は多種多様化している。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	人権啓発事業		主担当部課名	市民協働推進部 広聴相談課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 人権の花運動実施校	3	計画値	3	4	4	4	4	4	1 2 3 4 5 6 7 8									
	校	実績	3	4	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		計画通り実施できた。																
	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					1 2 3 4 5 6 7 8							
		計画値								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
事務事業名称	女性人権推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 講座受講者数	49	計画値	50	60	70	80	80	1 2 3 4 5 6 7 8										
	人	実績	322	463	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		R5年度は市内中学校2校、市内大学1校においてデートDVの意識啓発講座を実施できた。また、その他の講座においても会場開催だけでなくオンラインも活用し、市民が参加方法を選ぶことができ、参加を促すことができた。また、実績値においては中学校2校の第3学年の生徒を対象にデートDV意識啓発講座を実施したため、大幅に伸びている。																
	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					1 2 3 4 5 6 7 8							
		計画値								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					1 2 3 4 5 6 7 8							
		計画値								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	(人権) ・憲法講演会の実施 ・職員に対する人権啓発研修の実施 (女性人権) ・女性の自立支援事業に関する講座、デートDV関連啓発講座の開催	(人権) ・憲法講演会の実施 ・職員に対する人権啓発研修の実施 (女性人権) ・女性の自立支援事業に関する講座、デートDV関連啓発講座の開催		
今後の展開	(人権・女性人権) 引き続き、人権意識の啓発に取り組む。	(人権・女性人権) 引き続き、人権意識の啓発に取り組む。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多種多様化・複雑化した人権問題に係る正しい知識の普及や啓発に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
(人権) ・市民一人ひとりがお互いを尊重し、認め合うには、相手を知り、理解する必要があることから、関係団体等と協力して、正しい知識の普及や啓発に努める。 ・若年層への人権意識の醸成を図る。 (女性人権) ・デートDVに関する講座を実施し、若年層への人権意識の醸成を図る。	(人権) ・やさしい日本語を職員に周知し、誰でもわかりやすい情報発信ができるよう啓発する。 (女性人権) ・デートDVに関する講座を実施し、若年層への人権意識の醸成を図る。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
(人権) ・憲法講演会の開催 ・やさしい日本語及びヤングケアラーに関する職員向けの研修を実施 (女性人権) ・市内大学と協働し、在学生に対しデートDVに関する講座を実施し、若年層への人権意識の醸成を図った。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	(女性人権) ・デートDVに関する講座を実施し、若年層への人権意識の醸成を図る。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	036	平和意識の啓発
総合計画	基本目標 III 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習） 基本施策 01 互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進	主担当部課名 市民協働推進部 多様性社会推進課
めざす姿	市民一人ひとりが府中市平和都市宣言を尊重し、世界平和への願いや愛する郷土を未来に引き継ぐ意思を持った上で、自らも幸せに生活しています。	
SDGsとの関連	 	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	3,258,000	2,197,000	3,386,000	3,034,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	2,200,000	0	0	0		
一般財源	1,058,000	2,197,000	3,386,000	3,034,000		
予算現額	3,258,000	2,197,000	3,386,000	0		
決算額	2,059,106	1,059,262	2,779,721	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,800,000	0	0	0		
一般財源	259,106	1,059,262	2,779,721	0		
執行率	63.2	48.2	82.1	0.0		
(人件費)						
職員数	0.72	0.80	0.80	0.00		
職員人件費	5,641,061	6,463,060	6,383,193	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	158,762	0	0	0		
総コスト	7,858,929	7,522,322	9,162,914	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 「日々安心して暮らせる平和」が大切であると感じている市民の割合	90.9	実績	93	93.3	-	-	92.5
	%	達成率	100.5	100.9	0.0	0.0	
② 平和啓発事業における来場者の満足度	86.2	実績	86.2	86	-	-	90
	%	達成率	95.8	95.6	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ・イスラエル戦争など、平和を脅かす状況が続いており、平和意識の啓発が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	都は3月10日を「東京都平和の日」と定め、都内自治体と連携して様々な事業を実施している。	当課への業務移管に伴い、既存事業の内容の見直しを行ったことで、若い世代の参加者が増えた。	
市民ニーズ	昨今の世界情勢により、平和への関心が高まっていると考えられる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	平和啓発事業		担当部署	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 平和のつどい参加者数	50	計画値	50	75	100	150	150											
	人	実績	47	304	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容		既存事業の内容の見直しにより、参加者数の増加につながったと考えられる。																
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容																		
事務事業名称			担当部署					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値																
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容																		
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容																		
事務事業名称			担当部署					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値																
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容																		
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8			
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平和展（2回）、平和のつどい、夏休み平和子ども教室、平和映画会の実施 ・子どもたちが楽しみながら平和について学べるよう、「平和のつどい」と「夏休み平和子ども教室」は内容を見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和展（8月と3月）、平和のつどいの実施 ・対象者が同じだった「平和のつどい」と「夏休み平和子ども教室」を一本化した。 ・平和のつどいでは、多様な人への関心および共感が有意に上昇した 		
今後の展開	より効果的な事業とするため、不要な事業は廃止し、継続事業の内容を拡大・充実させる。また、現在や未来の平和について考える機会を増やし、平和についての考えを発信できる若者を増やす。	府中市民を中心とする人々が、平和のために日常生活の中で自分ができることを考え行動し、戦禍や被爆の実相を共有・継承するとともに、その取り組みを発信する。		

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
平和意識の更なる啓発に関すること。		
4年間（計画期間中）で協働により推進したい具体的な取組（解決したい課題・着したい事業等）	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが平和について考え、その考えを他者に発信できるようなイベントを、関係団体等と協力して実施し、次世代を担う平和意識を持った人材の育成に努める。 ・戦争体験を風化させることなく伝承する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加する子どもたちが、異なる文化的背景を持つ人との対話を通じて友達になる。 ・参加者自身が平和を実現する機会を創る 	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加した子どもたちについて、異なる文化的背景を持つ人との関わりへの意欲および共感性が有意に上昇した。 ・異なる文化的背景を持つ人と文化や日常の幸せを紹介しあうことにより、平和について考える機会を提供した 	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、市民が平和について考え、それぞれの立場で平和につながる行動ができるよう、そのきっかけとなる事業を検討する。また、戦禍や被爆の実相を継承する事業を実施する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	037	男女共同参画の推進				
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進			
めざす姿	市民一人ひとりが府中市男女共同参画都市宣言を尊重し、男女が性別にかかわらずあらゆる分野で平等に参画した上で喜びと責任を分かち合い、自分らしく豊かに生きることができています。					
SDGsとの関連	 					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	40,973,000	42,063,000	50,425,000	58,983,000		
国庫支出金	0	0	410,000	481,000		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,403,000	1,187,000	4,577,000	7,976,000		
一般財源	39,570,000	40,876,000	45,438,000	50,526,000		
予算現額	43,513,000	43,450,000	50,471,000	0		
決算額	41,827,967	41,949,599	47,451,123	0		
国庫支出金	0	0	632,000	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	895,427	1,241,129	3,737,468	0		
一般財源	40,932,540	40,708,470	43,081,655	0		
執行率	96.1	96.5	94.0	0.0		
(人件費)						
職員数	4.10	2.40	2.40	0.00		
職員人件費	32,122,709	19,389,180	19,149,578	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,580,188	0	0	0		
総コスト	75,530,864	61,338,779	66,600,701	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合(理想)	86.1	実績	87.2	68.1	-	-	90
	%	達成率	96.9	75.7	0.0	0.0	
② 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合(現状)	42.7	実績	-	-	-	-	50
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症の社会活動全般への影響は大きく、特に女性や子供など社会的弱者への支援が重要視された。また、性別役割分担意識は根強くあり、継続的な意識啓発が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	令和4年度においては男性の育休取得推進を目的に「育児・介護休業法」が改正され、令和6年4月には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行するなど、社会経済動向に合わせた法整備等が行われている。		令和5年度に実施した市民意識調査の選択肢を変えたことにより、「性別による役割分担意識にとらわれない人」の割合が減少してしましたが、固定的性別役割分担意識の改善に向け、男性向けの講座の開催や、令和5年度からは市内事業所を対象とした男女共同参画の意識啓発講座を実施するなど事業を進めているためこの評価とした。
市民ニーズ	令和5年度に実施した市民意識調査において、女性が職業を長く持ち続けていくうえで壁になっているものの最も回答が多かったのは「家事・育児との両立が難しい(40.6%)」であり、家庭内外における家事育児の支援が求められる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	男女共同参画推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合	86.1	計画値	87	88	89	90	90	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	87.2	68.1	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		男性の育休取得推進を目的に育児・介護休業法が改正(令和4年4月から段階的に施行)されるなど、法整備等を背景とした男女共同参画意識の向上が図られたと考えられる。また、令和5年度に実施した市民意識調査の選択肢を変えたことにより、「性別による役割分担意識にとらわれない人」の割合が減少した。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	男女共同参画推進協議会運営事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 女性委員の割合	-	計画値	72	64	64	56	56	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	63.6	75	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		委員の公募市民が女性のみであることや、委員推薦元の選出が女性であったため、女性委員の割合が高くなった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・男性（パパ）をターゲットとした主催講座を開催し、満足度の高い内容を実施することができた。 男性（パパ）講座 1事業 88人 ・女性人財データベースを設立し、審議会等へ女性が参画しやすい環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 男性（パパ）や、市内事業所等をターゲットとした意識啓発講座を開催し、満足度の高い内容を実施することができた。 ・男性（パパ）講座 1事業 97人 ・事業所向け意識啓発講座 1事業（2回開催） 延17人 		
今後の展開	市民への意識啓発事業に加え、市内事業所への男女共同参画に関する意識啓発事業を実施する。	市民への意識啓発事業に加え、市内事業所への男女共同参画に関する意識啓発事業を引き続き実施する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
ワーク・ライフ・バランスの推進に関すること。		
4年間（計画期間中）で協働により推進したい具体的な取組（解決したい課題・着手したい事業等）	今年度の方針	
ワーク・ライフ・バランス推進のため、主催・共催・市民との協働等で講座を開催し、意識啓発を図る。	ワーク・ライフ・バランス推進のため、主催・共催・市民との協働等での講座開催等を検討する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
R5年度は主催・共催・市民との協働等によるワーク・ライフ・バランス推進の講座等の開催は実施しなかった。	協働による実施を検討した	引き続き、ワーク・ライフ・バランス推進のため、主催・共催・市民との協働等での講座開催等を検討する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	038	都市間交流の促進				
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進			
めざす姿	市民や団体、事業者が姉妹都市や友好都市などの住民等との理解や親睦を深め、主体的に交流を行っており、相互にまちの魅力を高め合っています。					
SDGsとの関連	 					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	64,787,000	97,905,000	104,904,000	284,632,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	210,000	29,310,000	21,210,000	258,210,000		
一般財源	64,577,000	68,595,000	83,694,000	26,422,000		
予算現額	64,787,000	107,619,000	107,327,000	0		
決算額	59,680,084	105,404,614	104,897,759	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	31,000,000	15,085,000	0		
一般財源	59,680,084	74,404,614	89,812,759	0		
執行率	92.1	97.9	97.7	0.0		
(人件費)						
職員数	1.20	2.60	2.60	0.00		
職員人件費	9,401,768	21,004,945	20,745,377	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	2,844,013	99,593	105,689	0		
総コスト	71,925,865	126,509,152	125,748,825	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 佐久穂町と行った交流の件数	7 件	実績 2 達成率 16.7	6 50.0	- 0.0	- 0.0	12
② 友好都市ヘルナルス区へのホームステイ派遣者数	6 人	実績 - 達成率 0.0	6 100.0	- 0.0	- 0.0	6
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症や世界情勢により、都市間交流の手法や実施判断に影響が生じたが、渡航制限も解除され、人的交流が進んだ。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	新型コロナウイルス感染症や世界情勢により、都市間交流の手法や実施判断に影響が生じたが、渡航制限も解除され、人的交流が進んだ。	新型コロナウイルス感染症拡大により中止となっていたヘルナルス区との青少年ホームステイ相互派遣事業や佐久穂町との交流事業を再開することができた。	
市民ニーズ	コロナ禍で途絶えていた交流事業が再開され、友好都市へのホームステイ派遣説明会には多くの参加があり、交流への関心は高い。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	姉妹都市交流事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
市が実施した佐久穂町との ①交流事業に参加した市民の数	108	計画値	108	110	112	115	115	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	-	50	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としていた事業を再開したが、コロナ禍前の実績値には戻っていない。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	友好都市交流事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
友好都市ヘルナルス区への ①ホームステイ派遣者数(年間)	6	計画値	6	6	6	6	6	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	-	6	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としていた事業を再開した。例年6名を派遣している。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	(外部要因の影響などもあり) 計画をやや下回る成果であった	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	(友好都市) ・ヘルナルス区と友好協定締結30周年を記念した事業(記念誌の作成、ヘルナルス区訪問、30周年記念展の開催)を実施。	(姉妹都市) ・親子とうもろこし収穫体験を実施し、市民50人が参加。 ・商工まつり等で佐久穂町の特産物を販売。 ・佐久穂姉妹都市交流協会が府中市を友好訪問。 (友好都市) ・青少年ホームステイ相互派遣事業を実施し、両市区から6人ずつ青少年を派遣。 ・ヘルナルス区友好訪問団が本市を訪れ、市内施設の見学や学校訪問等を通し、交流を深めた。		
今後の展開	(姉妹都市) 市民保養所やちほを使用しない交流事業を実施する (友好都市) ・ヘルナルス区との交流事業では、市民が関心を持てる情報の提供や、多くの市民が参加できる交流事業を検討していく。	(姉妹都市) ・佐久穂町及び府中友好都市交流協会について市民に周知する。 ・日帰りのできる新しい事業の実施を検討する。 (友好都市) 青少年ホームステイ相互派遣事業を継続するほか、事業実施の様子を市ホームページ等に掲載し、広く市民に情報提供を行う。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				


6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
姉妹都市や友好都市などとの交流に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着したい事業等)	今年度の方針	
本市が主催で行う姉妹都市や友好都市との交流だけでなく、様々な分野や幅広い年代が参加でき、市民や団体、事業者等が主体となって行う交流を推進していく。そのため、まずは姉妹都市や友好都市を知ってもらい、興味を持ってもらう機会を増やしていく。	団体と協働し、コロナ禍で中止していた交流事業を再開する。また、姉妹都市や友好都市について情報発信を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
・府中友好都市交流協会と協働で、親子とうもろこし収穫体験を実施し、市民50人が参加した。 ・NPO法人府中国際友好交流会との協働により、友好都市ウイーン市ヘルナルス区との青少年相互派遣事業を実施した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	既存事業を継続・改善するほか、新規事業の実施を検討する。また、姉妹都市や友好都市について情報発信を行う。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	039	多文化共生の推進	
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進
めざす姿	国籍や民族などの異なる人が、本市の構成員（市民）として互いに言語・文化などの違いを理解した上で関係を築き、多様な価値観を認め合いながら共に暮らしています。		
SDGsとの関連			

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	16,734,000	24,416,000	23,425,000	27,213,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	300,000	300,000	300,000	625,000		
一般財源	16,434,000	24,116,000	23,125,000	26,588,000		
予算現額	16,734,000	28,774,000	24,197,000	0		
決算額	12,970,921	24,106,842	23,110,708	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	130,000	110,000	0		
一般財源	12,970,921	23,976,842	23,000,708	0		
執行率	77.5	83.8	95.5	0.0		
(人件費)						
職員数	1.45	1.70	1.70	0.00		
職員人件費	11,360,470	13,734,003	13,564,285	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	4,479,080	0	0	0		
総コスト	28,810,471	37,840,845	36,674,993	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 外国人市民の日本語学習会参加者数	3,900	実績	2,245	2,189	-	-	4,800
	人	達成率	46.8	45.6	0.0	0.0	
② 府中国際交流サロンボランティア登録者数	162	実績	106	112	-	-	175
	人	達成率	60.6	64.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	国内及び市内在住外国人は増加しており、外国人住民への支援策のほか、市民の多文化共生意識の醸成が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	総務省により「地域における多文化共生推進プラン」が策定され、自治体における取組が求められている。	日本語学習会は、新型コロナウイルス感染症の影響とそれに続く会場移転の影響により、令和元年度の実績までは回復していないものの、令和5年度は順調に日本語学習会を開催できた。	
市民ニーズ	日本語学習会への参加者は一定数おり、施策が必要とされている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	多文化共生推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業													
次年度における事業の位置づけ									B				1									
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)				要因の種類(※)														
				R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	1	2	3	4	5	6	7	8							
① 外国人市民の日本語学習会参加者数	3,900	計画値	4,000	4,200	4,500	4,800	4,800	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	人	実績	2,245	2,189	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症及び日本語学習会の会場移転の影響により参加者数が減少しており、令和元年度の実績値に戻っていない。																				
		計画値						要因の種類(※)														
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																						
事務事業名称			主担当部課名					事業種別														
次年度における事業の位置づけ																						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)				要因の種類(※)														
				R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	1	2	3	4	5	6	7	8							
		計画値						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																						
		計画値						要因の種類(※)														
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																						
事務事業名称			主担当部課名					事業種別														
次年度における事業の位置づけ																						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)				要因の種類(※)														
				R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	1	2	3	4	5	6	7	8							
		計画値						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																						
		計画値						要因の種類(※)														
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																						

(※)要因の種類

1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンにおいて日本語学習会を計画どおり開催した。 ・府中市多文化共生センターDIVEにおいて、ウクライナ避難民をはじめとした外国人相談に対応した。 ・物価高騰の影響に対応して、困窮外国人支援事業を行い日用品等の提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンにおいて日本語学習会を計画どおり開催した。 ・多文化共生センターDIVEにおいて、外国人相談事業、外国につながる児童・生徒の居場所事業、外国人住民向けの孤立解消サロン等イベントを実施した。 		
今後の展開	日本語学習会や外国人相談を実施するほか、市民の多文化共生意識の醸成を図る。	日本語学習会や外国人相談を実施するほか、外国人住民に向けた情報発信の充実に努める。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				




6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多文化共生の推進に係るイベントの開催や情報発信などに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民も安心して暮らすことができるよう、日本語学習会の開催や分かりやすい情報提供などの支援を行う。 ・市民の多文化共生意識の醸成を目指す。 	多文化共生センターDIVEのSNSで外国人住民に向けて情報を提供するほか、市内団体等との協働により外国人住民同士また外国人住民と日本人住民の交流を促す事業を実施する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
ボランティアや市内団体等との協働により、外国人住民の孤立解消等を目的としたサロンや、多文化共生促進を目的としたイベントを開催した。また、外国人住民支援サポーターを育成し、同サポーターによる外国人相談での通訳対応や市役所手続き等への同行支援などを行った。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、市内団体等との協働により外国人住民同士また外国人住民と日本人住民の交流を促す事業を実施する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	040	地域コミュニティの活性化支援	
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進
めざす姿	自治会等を中心として同じ地域に住む人たちが助け合い、自立的に様々な活動が展開されるとともに、文化センターでの事業をきっかけに世代を超えた地域住民の触れ合いと交流が更に深まり、地域でつながる住みよいまちが形成されています。		
SDGsとの関連	  		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	566,980,000	368,859,000	437,302,000	434,201,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	1,978,000	2,838,000	300,000		
市債	0	0	0	0		
その他	227,887,000	50,519,000	36,310,000	77,728,000		
一般財源	339,093,000	316,362,000	398,154,000	356,173,000		
予算現額	555,231,000	425,713,000	404,254,000	0		
決算額	508,199,531	384,431,221	377,334,340	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	1,740,000	4,376,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	164,678,722	89,508,471	54,929,356	0		
一般財源	343,520,809	293,182,750	318,028,984	0		
執行率	91.5	90.3	93.3	0.0		
(人件費)						
職員数	51.00	48.70	49.70	0.00		
職員人件費	399,575,157	393,438,778	396,555,853	0		
月額制会計年度任用職員数	1.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	20,041,421	24,004,405	23,016,142	0		
総コスト	931,064,801	801,874,404	796,906,335	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 各文化センター圏域でのコミュニティ行事の参加者数	182,514 人	実績 155,581	247,423	-	-	182,514
		達成率 85.2	135.6	0.0	0.0	
② 自治会加入世帯数	69,000 世帯	実績 66,845	66,081	-	-	69,000
		達成率 96.9	95.8	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	小中学校の教育活動やコロナ禍において実施が控えられていた参加型事業等がそれぞれ再開またはコロナ禍を経て時代に合ったものが実施されるようになり、地域で実施される事業への参加が増えた。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	感染症対策のための行動制限が緩和されたため、指標①の実績が大幅に増加した。	①は大幅に目標を達成した。 ②は本市だけでなく全国的に加入率が減少していることから、個別の原因は特定することは難しい。	
市民ニーズ	行動制限の緩和に併せ、日常的な感染症対策が浸透したことから、市が実施する事業への積極的な参加が増えた。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	コミュニティ圏域内地域交流促進事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① コミュニティ圏域事業実施数	135	計画値	135	138	138	138	138	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	132	142	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		コロナ禍による行動制限が緩和され、屋内外での集団での活動が徐々に日常化されてきており、昨年度より参加者数が増加した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															
事務事業名称	文化センターの老朽化対策事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 老朽化対策事業に着手した文化センター数	-	計画値	-	1	2	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	か所/累計	実績	-	1	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		基本計画を策定した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															
事務事業名称	地域コミュニティ活動活性化支援事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 公会堂整備事業助成件数(新設・改修・補修・敷地)	27	計画値	27	28	28	28	28	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	22	30	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		老朽化が進行する公会堂の増加により、前年度実績を上回り、概ね計画通り実施できた。													
		計画値	30	30	30	30	30	要因の種類(※)							
		実績	37	7	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容		申請のキャンセルが多く、計画値を下回る件数となった。													

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	計画を上回る成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	各文化センターでは、地域住民の交流とふれあいの場を広め、コミュニティ活動を活発にするため、コミュニティ協議会が主体となり、各種行事を実施している。 今年度はコロナの影響を受けながらも地域まつり、ちびっ子ふれあい文化祭やコミュニティ文化祭といった大規模行事を再開させることができたため、地域コミュニティの醸成環境はコロナ禍以前の水準に回復しつつあった。	地域住民同士の交流とふれあいを深め、コミュニティ活動を活発にするための各種行事を実施している。 感染症対策のための行動制限が緩和され、各種事業への参加者が分野に関わらず増加し、地域での人々の交流が活発化していると思われる。		
今後の展開	文化センターが地域住民がふれあい、つながる拠点となって、より多くの方々に参加していただけの伝統行事の継続など、地域の特性を活かした事業をコミュニティ協議会と共に展開していきたい。 あわせて、将来的に事業を継続して実施するためのパートナーの確保や育成を優先課題として検討していきたい。	文化センターを拠点とした各種活動や事業への参加は盛況であり、今後も引き続き参加しやすく満足度の高い事業の実施に努める。 地域における住民同士の結びつき強化のためには、自治会の安定的な継続が不可欠であり、加入世帯の増加を目指す。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
地域コミュニティの活性化や担い手の確保に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
近年、地域における人と人とのつながりが希薄化していることや自治会の加入率が減少していることから、地域活動を担う新たな人材の確保(次世代への継承)が課題となっている。併せて、自治会等の活動拠点となる公会堂は老朽化が進行している建物が多く、また自治会内の情報伝達手段である掲示板がないまたは老朽化により取り替えたいという要望もあり、自治会活動が継続しやすい環境づくりのために、各種の補助金を準備し、活動支援を進めていく。令和5年度からは、感染症対策と併せて情報提供手段の拡充のため、LINEアプリを活用した電子回覧板の活用を開始し、約3,400件登録されたが、さらに登録者数を増やしていく。 地域住民同士の交流やふれあいの機会が増えることにより地域への愛着を持ってもらえるために、各文化センター圏域のコミュニティ協議会と協働して地域の特性に合わせた事業を実施することや、市民生活に密着した自治会の連合組織である府中市自治会連合会と協働することで、地域社会における住民自治の振興と市民生活の向上を図る。	自治会の加入率減少が続いていることから、自治会連合会と連携して加入者数を増やす取組を進める。また、自治会への継続加入を促進するため、加入のメリットを感じてもらえるように工夫する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
自治会回覧板を電子媒体により回覧する仕組みを整えて開始した。令和5年度末時点で、約3,400件登録実績あり。自治会所有の公会堂について、改築を含めて4件の工事に補助金を支出した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、地域連携の強化に向けて各文化センター圏域のコミュニティ協議会と協働して、地域の特性に合わせた事業を実施する。 自治会連合会と連携して、自治会加入促進に取り組む。